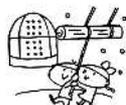




12月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



落ち葉や泥に触れて

園長 立石 晃子

天高く澄み渡った青空に、ドナウ通りのモミジバフウの赤が街を彩る季節となりました。子供たちは毎朝、お気に入りの色や形、大きさの葉や実を片手に登園し、園門に立っている私に見せてくれます。微笑ましい秋の朝のひとつです。子供たちの感性はこうした何気ない日常生活の中でも研ぎ澄まされているように感じています。保護者の方はそれを温かく見守り大切にしながら一緒に登園して下さり、そして担任がその思いを受け取り、保育室の中に子供たちのもってきた葉や実を大切に飾ったりかごに集めて展示したりし、子供たちの感性は大切にされています。

先日、年少組の子供たちと一緒に園庭の砂場ならぬ「泥場」で遊びました。踏み固められて通り道となっていた泥場でしたので、是非子供たちに土に触れてほしいと思い、スコップで柔らかく掘り起こしたところ、子供たちは興味津々に集まってきました。初めはシャベルで土の塊をバケツに入れていた子供たちでしたが、水を加えると徐々に手で触れ始め、どろどろになった手を「おもしろいでしょ」といった風に得意げに見せてくれたり、さらさら土をかけて泥団子をつくったりしていました。直接手で土に触れ、温度から季節を感じ取り、砂とは違った感触や特性を感じ取ることができたのではないのでしょうか。

今では行ったことがない場所や直接触れたり体験したりしなくても、バーチャルリアリティやインターネットといった技術の進歩により、容易に疑似体験することができるようになってきました。それでは直接体験は必要なくなっていくのでしょうか。

神戸大学大学院准教授の北野幸子先生の寄稿文によると、自然との触れ合いや生身の体験、諸感覚を使った経験であるリアリティを大切にすることこそが、実はバーチャルリアリティへの感受性や感性、対応力を高めることの根底となっている事実があるそうです。そして、両者は相対するものではなく、自然、動植物との触れ合いを保障することが根底にあって、テクノロジーの浸透が可能となること等、複雑な関係性や両者の共存の在り方も現在指摘されているとのことです。

幼児期の直接体験の重要性は今までも言われてきました。併せて、これからの時代を担う子供たちが様々な疑似体験（バーチャルリアリティ）に触れたときにも直接体験（リアリティ）が生きていくということも考慮しながら直接体験の機会を大切に、疑似体験と直接体験のバランスをとりながら、保育の工夫、保育環境の整備を行っていきます。

お知らせとお願い

- ・今季、冬季休業中の施設開放を行いません。ご了承ください。
- ・12月28日～1月5日の間、ウサギのバナラとココアのお世話をしてくださる方を募集します。是非バナラとココアのお父さんお母さんになっていただけませんか？

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

ドキドキだった初めての遠足楽しかったよ！

11月は観劇会、焼き芋会、年中組と一緒に秋の自然物探しの散歩などたくさんの行事を経験しました。そして、子供たちだけで初めて大型バスに乗って行った足立区生物園遠足。どんぐり拾いをしたり、水槽のトンネルを潜ったり、モルモットと触れ合ったり、子供たちが自分なりに感じたこと、気付いたことを言葉にしていました。遠足後は、拾ってきたどんぐりや落ち葉を使ってご飯を作ったり、ゴザを敷いて遠足ごっこをしたり経験したことを遊びの中で楽しんでいる子供たちです。戸外では、おおかみさんの鬼ごっこをしたり、みんなでつながってすべり台を滑ったりと、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ始めています。12月になり寒くなってきますが、戸外に出て体を動かし、引き続き友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるような遊びを行っていきます。そして年末年始ならではの行事があります。一つ一つの経験を大切にしながら、笑顔いっぱい2学期を締めくくれるよう援助していきます。

< 4 歳たんぽぽ組 >

「今助けに行くからね！まって！」みんなで遊ぶと楽しいな！

11月は年長組とあらかじめサイクルセンターの見学に行ったり、年少組と瑞光橋公園とお化け道でのどんぐり拾いをしたりと、他学年との交流を楽しみました。顔見知りになった年少組に「ちゃんおはよう」と声を掛けたり、優しく手をつないだりして遊ぶ微笑ましい姿も見られるようになって来ました。学級の中だけでなく他学年との関わりも楽しくなってきたたんぽぽ組です。そして今、学級では「助け鬼」を楽しんでいます。鬼に捕まり「助けてー」と呼んでいる友達に、「今助けに行くからねー。まって！」と声を掛けながら、鬼の隙を見て助けに行くなど、友達とのつながりを感じながら遊ぶ楽しさに気付き始めています。

12月はますます寒くなりますが、寒さに負けずに体を動かして遊ぶ経験を積み重ねていきます。そして、もちつき会や、冬のつどいなど楽しい行事も待っています。みんなで楽しい時間を過ごしなが、2学期を気持ちよく締めくくれるよう、援助していきます。

< 5 歳ばら組 >

芸術の秋、食欲の秋！劇遊びも頑張るぞ！

11月はあらかじめサイクルセンターや汐入小学校の学芸会见学、観劇会や焼き芋会など、芸術や秋の味覚を味わう経験がたくさんできました。アートの日では、セーターやマフラーなどのウール素材をフェルトにして、どんぐりの帽子を作りました。洗剤と混ぜ合わせることで徐々にフェルトに変化していく過程に興味津々！手作りのフェルトを使って作った帽子を被り、午後はどんぐりになった気分で木々の中を散策し、どんぐり拾いも楽しみました。世界に一つのどんぐり帽子はみんなのお気に入りです

今はアートの日で用いた絵本を基に、学級のみんなでオリジナルストーリーを作り、劇遊びを楽しんでいる年長組。表現や劇に必要なものについて互いに意見を出し合ったり、受け入れたりしながら取り組んでいます。共通の目的に向かって自分の役割を意識しながら動いたり、友達と協力したりして、やり遂げた満足感や学級のつながりを十分に味わえるよう援助していきます。